

# 講師 金子 毅司 (Tsuyoshi Kaneko)

## 研究シーズ

【社会福祉】

## 専門

司法福祉、精神保健福祉

## 研究キーワード

司法福祉、精神保健福祉、ソーシャルワーク

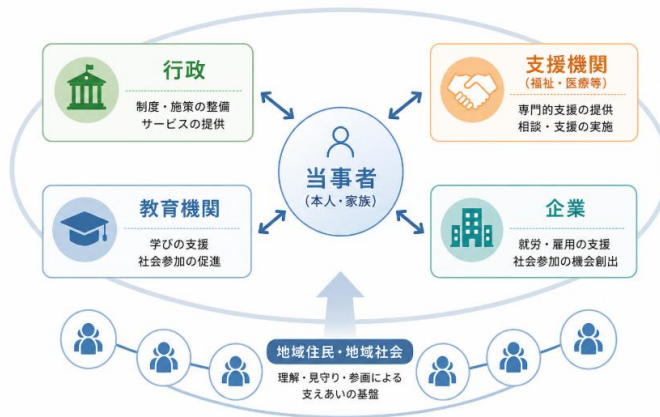


## 研究テーマ

# 罪に問われた人の地域生活支援に関する研究

## 研究の概要

罪に問われた人が地域での生活を再構築することは、決して容易ではありません。立ち直りを支えるためには、排除ではなく共生の視点に立ち、地域全体の理解を深めていくことが重要です。罪に問われた人の立ち直りを実現することは、孤立を防ぎ、犯罪からの離脱を可能にします。それは本人個人の問題にとどまらず、地域社会の安全にも寄与するものです。



一方で、「犯罪」というインパクトの強い出来事を前に、支援者や企業、地域住民などが、かかわることに戸惑いやためらいを感じることも少なくないと考えられます。これまで私は、罪に問われた人が犯罪に至った背景を紐解きながら、どのような福祉的支援が求められるのかについて研究を行ってきました。

これまでの実践と研究の蓄積を踏まえ、罪に問われた人を含む誰もが孤立することなく地域の中で支え合いながら暮らすことのできる、より有機的なつながりを備えた地域社会のあり方について研究を進めています。

## セールスポイント

関東圏において、罪に問われた人への福祉的支援の実践経験があります。この経験をもとに、新潟県において罪に問われた障害者への福祉的支援体制の構築にも携わってきました。これらの実践と研究の双方を踏まえ、地域に根ざした支援のあり方を検討・発信できることが可能です。

## 想定される用途・応用例・活用例

- ・ 地域企業と連携し、罪に問われた人の就労などの地域に根ざした支援のあり方を模索する。
- ・ 福祉・行政・教育機関や地域住民への研修を通じて、罪に問われた人への理解促進と地域の支援基盤形成につなげる。